

新人消防士

今日から現場活動に加わります

昨年4月に採用された仙南消防本部の新人消防士5名は、1年間の初任教育を修了し、令和4年4月1日、仙南圏域の各消防署へ配属されました。



各消防署に配属された新人消防士たちは、宮城県消防学校などで学んだ1年間の知識に加え、今後は、仙南圏域の地理や水利（消火栓や防火水槽など）、現場活動の際に使用する資機材の取り扱い、消防に係る法令を覚えるなど、幅広い知識を習得していきます。更に、現場活動に必要な技術の習得、現場で活動するための身体づくりなど、一人前の消防士になるため、これからも多くのことを学び、成長していきます。

まだ、スタートラインに立ったばかりの新人消防士ですが、日々研鑽を積み重ね、より一層のレベルアップを図り、圏域住民の生命・身体・財産を守れるよう、

消防士の仕事って？

消防の仕事は、多岐にわたる災害から圏域住民の生命と財産を守ることです。

そのため、消防士の仕事は、大きく分けて5つの分野に分かれています。

警防

警防とは、火災が発生した時に現場に駆け付け、消火・救助を行う仕事です。隊員は、火災を早く消火するため、専門的な戦術を身に付けた消防のプロと言えます。



予防

予防とは、予想される災害を未然に防ぐことを目的にした仕事です。建物に設

救助（レスキュー隊）

レスキュー隊は、災害現場で動けなくなった人や、建物に閉じ込められた人などを救助する「人命救助のスペシャリスト」です。

レスキュー隊は、一分一秒を争う危険な現場活動を行うこともあり、隊員には高度な知識、強じんな体と精神力が求められるため、選抜した隊員で構成される特別な部隊です。



救急

救急とは、救急車と共に現場に駆け付け、傷病者に手当を行ったり、医療機関へ搬送したりする仕事です。隊員には、救急医療の知識や技術が求められます。